



臨床における理学療法効果の科学的証明

- 基礎研究の臨床への還元 -

10月1日(土) 11:10-12:10 会場: 第1会場

関西医療大学大学院
鈴木 俊明

司会: 浦川 将 (広島大学)

理学療法は様々な領域で必要とされているが、日本基礎理学療法学会の責務は、理学療法効果に科学的根拠をもたせることではないだろうか。理学療法力というものは、「臨床」能力によって評価されるが、臨床技術は科学に基づいたものでなくてはなりません。研究機材の充実した現在では、様々な理学療法技術におけるその効果が、理学療法基礎研究によって解明されつつあります。

本学術大会では「臨床における理学療法効果の科学的証明－基礎研究の臨床への還元－」とさせていただきます。理学療法領域における基礎研究と、それらの研究成果をどのようにして臨床へ還元していくのかについて皆さんと共に考えていきたいと思っております。

当初、この学術大会には私自身の研究でご指導いただいたアイオワ大学、京都大学 名誉教授 木村 淳先生を特別講演でご講演いただく予定でしたが、今年3月3日にご逝去され、皆さんに先生の研究の素晴らしさをお伝えいただくことができなくなりました。そこで、私が京都大学で勤務させていただいた6年間で筋電図研究について直接ご指導いただいた京都大学 名誉教授 藤原哲司先生と木村 淳先生に感謝すると共に、先生のご研究と今まで多くの仲間達と行わせていただいた私自身の研究について紹介させていただきたい。

